

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科			医療総合学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名			救急法	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年			1年	学期及び曜時限	前期	教室名	406
担 当 教 員			加藤智久	実務経験とその関連資格	病院勤務時、臨床工学技士として勤務。呼吸療法認定士取得し呼吸管理の実務経験がある。		
《授業科目における学習内容》							
臨床の場で実施される蘇生法と救急措置(一時救命、吸引、呼吸リハビリテーション)を学び、普通救命講習を終了する。リハビリテーション実施時のリスク管理(患者の状態評価、感染リスク)を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(90点)と実技試験(10点)の合計100点で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書の指定はない。適宜、資料を配布する。							
《授業外における学習方法》							
資料を見直し、要点と手技を繰り返し復習する。							
《履修に当たっての留意点》							
患者の状態把握やリスク管理は非常に重要であり、必要な手技を正確に覚えること。							
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	バイタルチェックの方法と手技を理解して、実施できる。		教科書 血圧計、パルスオキシメーター、聴診器	事前に教科書を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	バイタルチェックの方法と内容				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションにおけるリスクを理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションにおけるリスク管理				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患ごとの急変予測を理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測①				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患ごとの急変予測を理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	疾患ごとの急変予測②				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療機器の種類と見方を理解することができる		教科書	事前に教科書を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	医療機器の種類と見方				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生法について理解できる	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	心配蘇生法について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	普通救命講習を修了すること	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	普通救命講習		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	普通救命講習を修了すること	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	普通救命講習		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			